

2011年1月～2022年12月に当院にて乳癌治療を受け、純型粘液癌と診断された方へ
研究:「純型粘液癌に対する周期薬療法の有効性と臨床病理学的因子に関する検討」の実施について

1. 研究の対象

2011年1月～2022年12月に当院で乳癌手術を受け、術後病理診断で純型粘液癌と診断された方

2. 研究目的・方法

乳癌の中には、特殊型といわれる、通常の乳癌とは予後や薬物療法の適応基準がやや異なるものがあります。特殊型のうち、粘液癌は乳癌全体の約3%に発生するといわれています。粘液癌の中でも、通常型の乳癌が混在していない純型の粘液癌は、しこりがやや大きくても通常の乳癌ほど予後が悪くないことが知られており、わきのリンパ節に転移がなければ、術後の薬物療法はホルモン療法だけで十分である場合が多いと考えられています。しかし、わきのリンパ節転移の有無以外に、どのような要素がある場合には抗がん剤などの治療を追加した方がよいのかについては、詳しいことはわかっていません。そこで、純型粘液癌の再発予防にはどのような薬物治療が最適であるかを検討するため、当院で乳癌の手術を受けられ、純型粘液癌と診断された方を対象に、臨床病理学的因子や治療内容などを調査・集計し、解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、病理診断結果、手術方法、術前・術後の治療内容、再発の有無 等

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間は当院実施承認後～2024年3月末、予定症例数は100例

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。

6. 個人情報の取り扱いについて

研究に利用する情報は、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報を削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にも個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究機関】国立病院機構 四国がんセンター 乳腺外科

【研究責任者】河内 麻里子

【連絡先】〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160

国立病院機構 四国がんセンター 乳腺外科 河内 麻里子

TEL: 089-999-1111 (代表)

FAX: 089-999-1128

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい

-----以上